

---

# 或いは僕が含まれて

SHUNKE

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

或いは僕が含まれて

### 【著者名】

IZUMI

### 【作者名】

SHUNKE

### 【あらすじ】

歌うしかない時だったから、僕らはすれ違つただけかもしれない

ねえ、葵聞こえているかい？

君は一人いて、時には三人になつて  
僕はとても楽しかつたよ

葵の見ている風景は

きっと、もつと遠くのもつと上方を  
そのパソコンの画面から覗いていたんだるうけど  
僕は散歩しながら

君の影を

空の消えそうな深淵の境界で  
口ずさんでいたんだ

二つの葉はクロスオーバーして

深夜のコンビニの帰りに

オーバードーズして

あの世を見たのかい？

クリスタルの月に船出しそう  
喉の奥につまつた蛾が取れたら

僕は歌いだす

100万人以上の大好きなステージで

国旗を巻いて盲目のフリをしてやるのさ  
そしたら、駿馬に引かれた幌馬車から  
バンジョー弾きが降りてきて

陽気にやつてくれる

もしくは、音楽室にあつたような

鍵盤が足りないオルガンで

子守唄を演つてくれるかもしぬないな

葵の頭の中には  
精靈使いがいて  
夜毎、まじないを唱えていたんだろ  
僕はそのおかげで  
葵と同じ夢を見ることが出来たんだ  
山羊がかくれんぼをしていく夢

葵がいなくなつてから

僕の音楽の趣味は速度を落として  
有名な嘘をつくようになつたよ  
みんな騙されたフリをしてくれて  
葵がよじれていくことを隠したままにしてくれるんだ

速度を競えよ、乙女  
君の常套句だろ

またどこかで歌えよ  
見つけに行くから

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9581o/>

---

或いは僕が含まれて

2010年11月17日03時16分発行